



新型コロナウイルス関連情報

効果的な感染症対策の確認を

2月8日現在、国では新型コロナウイルスの感染症法上における扱いについて、5月8日(月)から現在の2類相当を5類に変更するよう議論を進めています。一方で、感染力は非常に高いため、引き続き感染症対策を行うようお願いいたします。

効果的な感染症対策の例

こまめな換気 冬期は寒さから換気をしづらく、屋内の空気が滞留しがちです。空中に浮遊する粒子や飛沫を吸引して感染するエアロゾル感染を防ぐため、空気の循環する環境を整えましょう。

窓が2つ以上ある場合 外気の入口と出口を意識して2方向の窓を開ける。

窓が1つの場合 窓と、ドア・換気扇などを利用して空気の通り道を作る。

手洗いの徹底 感染力の高いウイルスが手に付いても、せっけんを使った手洗いで感染リスクは下げられます。帰宅時や調理の前後、食事の前などはこまめな手洗いを心がけましょう。その際は、指先や爪の間、手首も忘れずに洗いましょう。

感染したかと思ったら

重症化リスクが低い人は、検査キットで自己検査を行い、陽性の場合は県ホームページから陽性者登録することを推奨しています。キットの販売場所や陽性者登録の方法については、県ホームページまたは右のQRコードからご覧ください。なお、県ホームページに該当する人は医療機関を受診して下さい



◆65歳以上◆小学生以下◆妊娠している(可能性含む)◆重症化リスク(糖尿病・慢性呼吸器疾患・心血管疾患・慢性腎臓病・BMI30以上の肥満・悪性腫瘍・免疫低下状態・脳血管疾患・喫煙歴・高血圧)がある人

健康づくり課 ☎92-1117

東部第二土地区画整理事業 新たな活力、支える人々

第10回 有限会社タチオカ商会 下糟屋東三丁目14番地 ☎0463-93-7716

会社情報 Company Profile

代表者 代表取締役 文屋 雄幸
本社所在地 伊勢原市下糟屋東三丁目14番地
設立 平成15(2003)年
業種 一般・産業廃棄物処理業
従業員数 14人◇令和5(2023)年1月時点



代表取締役
文屋 雄幸さん

資源リサイクルに貢献する新工場。その名は「クルクルエコプラザ」

当社は、伊勢原市資源収集協力事業所として、市のごみ処理基本計画に基づく分別収集の資源物を収集し、有価物としてリサイクルする事業を展開しています。また、市内事業所の一般・産業廃棄物を収集するとともに、引っ越しの片付け、空き家整理や遺品整理のお手伝いをさせていただいています。小稲葉にあった本社をこの地に移転したのを機会に、産業廃棄物収集運搬業を強化するため、積替保管*ができるように事業範囲変更の手続きを進めています。今後とも、市内で数少ない許可業者として、廃棄物処理に貢献していきたいと考えています。

*排出事業場から契約している処分場までの収集運搬工程の間で、廃棄物を車両から荷下ろしして、一時保管や別の車両への積替を行うこと

DAILY SCHEDULE

- 8:15~ 朝礼・車両点検
- 8:30~ 事業系一般廃棄物の収集
- 10:30~ 収集物を清掃工場に搬入
- 11:00~ 資源物(空き缶)の回収
- 13:00~ 昼食
- 14:00~ 缶類の選別作業
- 15:00~ 事務作業(集荷物の集計)
- 16:30~ 工場内清掃
- 17:00 退社

若手社員のとある一日 One Day Of A Young Staff



市内事業所から出る一般廃棄物の収集や、資源物回収で活躍している文屋さんに、一日のスケジュールを伺いました。

文屋 杏莉沙さん



工場内でフォークリフトを運転する文屋さん



1日あたり約2トンの空き缶が集まっています

◇次回は「安全輸送株式会社」を紹介します

伊勢原清掃工場のダイオキシン類調査結果

令和4年度に実施した「ダイオキシン類調査」の測定結果をお知らせします。

調査では、伊勢原清掃工場焼却炉の排出ガス・焼却灰と工場周辺の土壌・河川水、栗原最終処分場放流水・周辺地下水について測定しました。結果はいずれも国の基準値を大幅に下回っています(下表参照)。

なお、本調査は秦野市伊勢原市環境衛生組合が行っており、試料の採取時期は令和4年9・10月です。

◇1ナノグラムは10億分の1グラム、1ピコグラムは1兆分の1グラム

焼却炉排出ガス (単位:ナノグラム)			焼却灰 (単位:ナノグラム)		
90トン炉	令和3年	令和4年	90トン炉	令和3年	令和4年
	0.0011	0.00042		0.032	0.0031

※基準値=5ナノグラム(1立方メートル中)

※基準値=3ナノグラム(1グラム中)

工場周辺土壌 (単位:ピコグラム)				工場周辺河川 (単位:ピコグラム)		
令和3年		令和4年		採取箇所	令和3年	令和4年
栗原	1.5	栗原	1.7	栗原川	0.064	0.069
坪ノ内	4.0	大住台	12	善波川	0.062	0.063

※基準値=1000ピコグラム(1グラム中)

※基準値=1ピコグラム(1リットル中)

※坪ノ内地区と大住台地区は隔年で測定

最終処分場放流水 (単位:ピコグラム)			
栗原最終処分場	令和3年	令和4年	※基準値=10ピコグラム(1リットル中)
	0.000021	0.000018	

最終処分場周辺地下水 (単位:ピコグラム)			
採取箇所	令和3年	令和4年	※基準値=1ピコグラム(1リットル中)
栗原最終処分場観測井戸	0.063	0.067	
処分場周辺民家(1)	0.063	0.063	
処分場周辺民家(2)	0.063	0.063	

☎秦野市伊勢原市環境衛生組合伊勢原清掃工場 ☎95-1711

ほっと ニュース HOT NEWS

色鮮やかに、新年の幕開けを告げる

消防に対する認識と信頼を深めるため、消防署・消防団による「消防出初式」を総合運動公園で実施しました。防災活動や人命救助に尽力した個人・団体の功績表彰、車両観覧、消防演技に続き、クライマックスでは色付き一斉放水を行いました。(1月8日)



撮影/福田伸さん(広報カメラマン)

20歳を祝う晴れ舞台 はたちのつどい



撮影/福田伸さん(広報カメラマン)

民法改正による成年年齢引き下げ後、名称をこれまでの「成人式」から「はたちのつどい」に変更して初めての開催になりました。「はたちの誓い」では、代表者5人が「紡げ~私たちだけの糸~」をテーマに、20歳の節目を迎えた心境や感謝の気持ち、新たな決意などを語りました。(1月9日)

大活躍の少年サッカークラブが市長表敬訪問

少年サッカーの2022年度第4回CHALLENGE CUP U-12(関東大会)で準優勝したSFAT ISEHARA SCが大会結果の報告に訪れました。児童の一人は「将来、プロで活躍するために、中学生になっても練習を重ねたい」と抱負を述べてくれました。(1月17日)

